



倉敷市のインフラや公共施設の整備を通じて、  
安心して快適な街づくりに貢献したい。

電気技術職 平成30年度～ 公共設備課  
令和5年度～ 下水施設課下水施設管理室

山地 貴大 (やまじ たかひろ)

## 現在の所属の業務内容と担当業務について教えてください。

下水施設管理室では、下水道施設である下水処理場・ポンプ場・マンホールポンプ等の維持管理業務を行っています。担当業務は、施設に設置している電気設備の修繕及び設備点検業務で、発注から施工監理まで幅広く行います。

## 職種としての業務内容の詳細を教えてください。

担当している修繕業務では、まず、故障した電気設備機器の調査を行います。具体的な故障箇所を特定し、図面などから情報を収集して原因を特定します。次に、必要な部品や材料の見積りを依頼し、発注手続きを行います。修繕作業が始まると、施工監理を行います。進捗状況や品質などを確認し、修繕の完了となります。

設備点検業務では、点検対象機器の選定や点検頻度などを考慮し、設備保守点検の計画を立てます。計画通りに委託の発注、監理を行います。

また、修繕及び設備点検業務の発注に加えて、設備機器の故障などのトラブルが発生した際にも迅速に対応することが重要です。

## 人事異動を経験してみてどう感じましたか？



私は2つの部署を経験しましたが、業務内容が大幅に変わり、覚えることが増えた印象です。

現在の部署は、機械、電気、化学の技術職員で構成され、それぞれの専門的な知識を共有し、日々新しい知識が増え、成長を実感しています。数年おきに人事異動があるため、フレッシュな気持ちで業務が行えることは魅力の一つです。

## 転職の理由を教えてください。

転職者

前職は、プラント設備の設計会社に勤めていました。ものづくりの基礎となる設計ですが、自分で設計したものが図面通りに建設され、出来たものを見たときにはやりがいを感じました。それを倉敷市の施設で、市民の皆様にご利用いただいたら大きなやりがいを感じると思い、倉敷市職員として働くことを決めました。また、前職では残業や休日勤務が常態化していました。ワークライフバランスを考えたときに転職する決意をしました。

## 前職とのギャップで戸惑うことはありますか？

前職とのギャップは、人事異動です。前職は自らの要望が無ければ部署異動がありませんでした。倉敷市では3～5年ぐらいで人事異動があり、多くの部署を経験できます。部署によっては、業務内容が異なることもあります。一から仕事を覚えなければならない不安感もありますが、フレッシュな気持ちで業務が行えることは魅力の一つです。

## 就職活動中の皆さんにメッセージをお願いします。

市役所の仕事は幅広く、電気技術職の具体的な業務はイメージしづらいと思います。しかし、市民の方が安心・安全・快適に暮らすために必要な倉敷市のまちづくりに携わることのできるやりがいのある職業です。

専門的な知識は、日々の業務や研修を通して学べるため心配はありません。市民のため、倉敷市のためにぜひ、倉敷市職員として一緒に働きましょう。